

## 幼稚園・学校のあり方検討委員会議（第3回）の主な意見

### 1 大井町立幼稚園のあり方について

#### （1）相和幼稚園の取組の検証

○相和幼稚園と相和小学校の施設を一つとし、送迎バスで園児・児童の送り迎えをする。また、空いた施設は、民間等に貸し出してはどうか。

○相和幼稚園に通う（おうとする）当事者は、どのように考えていますか？  
⇒ 保護者としては、利便性等を考えれば残してほしいと考えているが、園児数の減等により、それだけを固持するのもどうかといった話が出ている。

○相和幼稚園を残してほしいと思うが、他地区から人が入ってくることで、幼稚園がうまく回らないのであれば、相和幼稚園の存続はやめた方が良くと思う。

○民間のこども園ができるのであれば、相和幼稚園をこども園にするということが難しくなってくることを考えなければならない。

#### （2）町立3幼稚園の今後

○民間のこども園ができるのであれば、いろいろな選択肢ができることは、結果として、保護者がふさわしい場所を選べるということは、とても良いのではないかと考える。

○今後の町の財政的な負担を考えなければ、そのまま幼稚園を継続していくということも可能であるが、やはりお金の問題は出てくるため、それなりに整理をしなければならないといった現実問題が出てくるのではないかと考える。

○今後町でこども園を運営していくのであれば、町では経験がないため近隣の取組を参考にし、十分な情報を得て対応をしていく必要があると考える。

## 2 大井町立小学校・中学校にあり方について

### (1) 相和小学校の取組の検証

○相和小学校の取組（小規模特認校制度・ICT教育・放課後教室等）というよりも、もう少しかみ砕いた内容で保護者にPRした方がよいと思われる。

○保護者・卒業生という立場であると相和小学校は存続させたい。

○町や町外の不登校のお子さん等を集めて児童を増やす取組をしてはどうか。

⇒ 子どもたちが最高の学びを得られるよう考えてもらいたい。ほかのところから子どもを入れて、人数だけ増やせば良いとは思わない。

地域の力は大切で、他地区から人が入ってくること、良い面がある一方で地域の力が弱くなることもあり、それでうまく回らないのであれば、相和小学校は存続させる意味がないと思う。

うまくなじめない児童（園児も）がいて、周りの子どもたちにも良い影響を及ぼさず、その子も周りの子も可哀そうで、そういうことも想定した上で検討していただきたい。

○小規模特認校制度により、学区外からの児童は増えているが、全体的には減少傾向であり、そろそろ限界に来ているのかと思われ、そのあたりを踏み込んで考えなければならない時期かと思う。

○一人一台端末の導入やデジタル教科書の取組等でICT教育が進む中、今後の教育環境の変化に関心がある。コロナ禍でZoomを使っの授業など、相和小学校でも取り入れるなどのPRもよいのではないか。

### (2) 町立3小学校の今後

特になし